

2022年1月4日

各位

株式会社 中京銀行

頭取の年頭訓示要旨（頭取 小林 秀夫）

中京銀行（頭取 小林 秀夫）は、2022年1月4日（火）、年頭訓示を行いましたので、お知らせします。

その要旨は下記の通りです。なお、今年は、自宅でも利用可能なeラーニングシステムによる動画配信に加え、本部の一部役職員向けには対面形式により伝達いたしました。

記

今年、第18次中期経営計画（CXプラン）は改革実行の年度から新体制開始の年度へと、次のステージに進む。店舗統合などの構造改革や新しい営業活動の型の導入、少人数体制に向けた業務量の削減など、新体制への移行準備を総仕上げし、お客さまに対し高度で質の高いサービスの提供を行うとともに、新人事制度導入によりやり甲斐と働きがいに満ちた新しい企業文化へ変革させる。

年頭に当たり、皆さんに取り組んでほしいことを3点申しあげる。

1. お客さまの5年後、10年後を考える

当行は、5年後10年後の持続的な成長を目指し、ビジネスモデルや収益構造を変革するためCXプランを実行している。今、取り組んでいるソリューション営業活動は、まさに「お客さまの5年後、10年後を考える」、お客さまの持続的な成長を支援するコンサルティング活動である。将来を見据えた自己変革の経験を活かし、ソリューション提案力と実行力をしっかりと身に付け、お客さまの未来への伴走者になってほしい。

2. 変化を恐れず前進する

CXプランに取り組む中、経営統合について、今は公表された限られた情報のみであり、戸惑いや漠然とした不安を持つ行員も多くいると思うが、経営統合とCXプランは同じベクトルである。CXプランを達成するために、ソリューション営業、マルチスキルを磨き上げ、決して受け身にならず、今後の変化に対応するために、何が不足しているか、何が必要かを自ら考え、変化を先取りする気概を持って行動してほしい。

3. 連帯とコミュニケーション

営業店と本部、上司と部下、本部各部間や係間、経営陣と行員など、それぞれの接点において、相手への気遣いや配慮、思いやりの気持ちを持ち、連帯して難易度の高いミッションを乗り越えてほしい。また、コミュニケーションの重要性を再認識のうえ、活発なコミュニケーションと、これまで培ってきた「CSマインド」を再確認してほしい。



<本店の訓示風景>

以上